



ドキュメンタリービデオ 「妹と私 みき演劇セミナーでの5ヶ月」の制作



DATA

- 主な連携先・メンバー
三木市文化会館・みき演劇セミナーのみなさん／関西大学総合情報学部 岡田朋之ゼミ
- 活動地域
兵庫県三木市
- 活動期間
2017年度～2018年度
- 活動資金
総合情報学部実験実習材料費(撮影資材など)

活動の目的

- 1 市民参加の演劇セミナーを取材し、記録することを通して、地元を捉えなおす
- 2 作品の主人公である作者の妹と、作者自身のそれぞれの「地元」への意識を描き出すことで、視聴者それぞれが地域を見つめなおすきっかけにしてもらう



連携にいたる経緯

ゼミの学習実践としておこなっているビデオ制作の取材対象として、「見つめなおそうふるさと」をテーマに据える「みき演劇セミナー」が、幅広い年齢層の人々の交流の場であること、また市民が郷土の歴史を深く学ぶ場となっている点に着目し、活動の連携先として協力を依頼した。

活動内容

三木市文化会館で毎年開催されている市民参加の舞台、「みき演劇セミナー」の2018年3月に開催された公演「比翼の鳥 誇り高き武将 吉親と妻の物語」について、稽古の開始から公演終了までを取材し、ビデオドキュメンタリーを制作した。また、ビデオ制作と並行して、取材対象となっていた舞台の制作スタッフとしても参加し、公演の成功に貢献した。完成した映像作品は映像コンクールの「地方の時代」映像祭2018と東京ビデオフェスティバル2019に出品された。



活動の成果

- 1 「『地方の時代』映像祭2018」で、市民・学生・自治体部門に入選し、優秀賞を受賞
- 2 「東京ビデオフェスティバル2019」に入選し、アワードを受賞
- 3 地元県域紙にも映像制作や受賞について報道されたほか、コミュニティFMでも紹介されるなど、地域の文化活動の周知にも一役買うことができた

今後の課題・目標

- 1 高い外部評価を得ることができた制作過程の再検討と、スキルの継承
- 2 メディア制作活動を通じた地域貢献の方法の具体化
- 3 素材や成果物の保管・維持の方法の確立

教員紹介



■ 総合情報学部 教授

岡田朋之
Tomoyuki Okada

専門はメディア論。情報メディアの革新が人々の日常生活とどう関わっていくかについて、主にスマートフォンやSNSなどを通じたモバイルコミュニケーションの変化の側面から研究している。ゼミでは「メディアをつくる、社会を考える」をテーマに置き、メディアやイベント等の制作を踏まえて社会の問題を考察することを課している。